

事務事業名	住宅地区改良事業等(向島団地)	所属部	建設部	所属課	都市建築課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	建築・営繕G	課長名	嘉本 俊一
施策名	(04)計画的な土地利用と市街地整備	担当者名	吉川 卓男	電話番号(内線)	0854-40-1064
基本事業名	(011)住環境開発地域の整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 410 215 115 011	公営住宅整備事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)					
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(17年度~23年度)	(事業概要と手順) 改良住宅(市営住宅)10戸(5棟)の建替え事業 基本計画を策定し、入居者への説明→住宅建設→入居 既存:コンクリートパネル造2階建て、9棟(18戸)、築35年経過 計画:木造平屋建て5棟、2DKタイプ4戸(57㎡)、3DKタイプ6戸(68㎡)	建物の老朽化が進行していることから、雲南市公営住宅ストック総合活用計画に基づき、建替えを行うこととした。					

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)	国庫支出金	千円	57,831	41,156	22,238			121,225
	県支出金	千円	0	0	0			0
	地方債	千円	23,100	12,000	0			35,100
	その他	千円	0	0	0			0
	一般財源	千円	318	26,839	28,325			55,955
事業費計(A)		千円	81,249	79,995	50,563	0	0	212,280
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	600	600	600			
	人件費計(B)	千円	2,288	2,333	2,365	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	83,537	82,328	52,928	0	0	223,368

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名							
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤活動指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	1棟2戸建替 4棟8戸除却 周辺道路整備	ア 建替戸数	戸	4	4	2			10
		イ 除却戸数	戸	6	4	8			18
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ウ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名							
	向島住宅	⑥対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		ア 老朽住宅の戸数	戸	12	8	0			0
		イ							
	③意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦成果指標							
上位目的	老朽化住宅の建替を行い、居住水準を向上させる。	ア 建替進捗率(建替済住宅/建替未実施住宅)	%	40%	80%	100%			
		イ 除却進捗率(除却済住宅/除却未実施住宅)	%	33%	56%	100%			
		ウ							
		エ							
		オ							
④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標								
地域特性を活かした有効かつ効果的な土地利用を進める。	ア 便利で住みよいまちだと感じている割合	%	59.3	58.8					
	イ								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
建替を21年度より開始し、これまで8世帯が新しい住宅に移られた。既存住宅と比べ断熱やバリアフリーにより、居住性が改善した。	特になし。	入居者からは家賃上昇に対する不安の声あり。

事務事業名	住宅地区改良事業等(向島団地)	所属部	建設部	所属課	都市建築課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 居住困窮者を救済する観点からも住宅行政に必要な施設である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 居住困窮者を救済する観点からも行政の責務において実施する事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 公営住宅ストック総合活用計画(H19.02)により対象を定めている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 入居者及び地元関係者と十分に協議のうえ事業を進めており、これ以上向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 居住環境の更なる悪化を招く。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 団地ごとに、整備内容が違うため、統合の余地はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の仕様又は工法により、住民協力も得て事業を実施している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 建設工事あたっては、工事監理業務を委託しており、適切な工程管理や品質管理を行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 入居者及び地元関係者と十分に協議し、公営住宅整備基準に基づき整備を進めている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	入居者の理解と協力により事業推進をした。 引続き、協議しながら事業を推進する。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		●	×				×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持 低下		●	×																			
			×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし。																							